

令和7年度

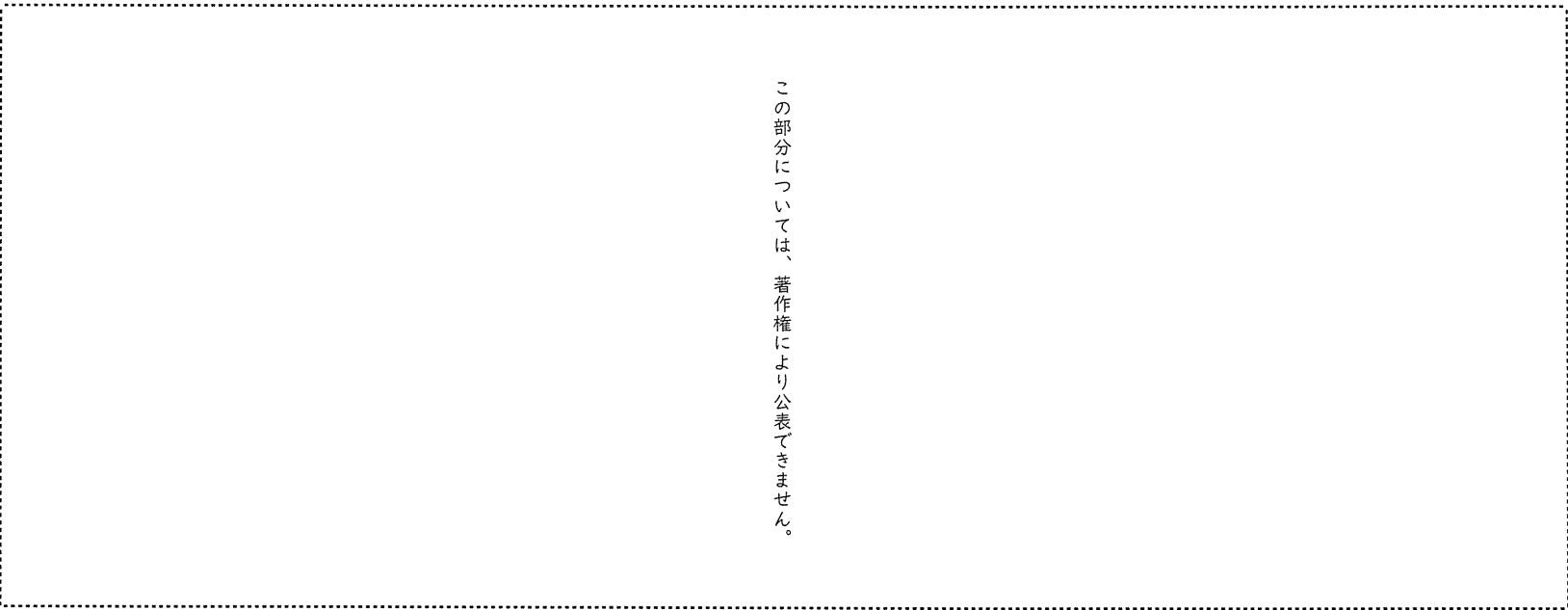
奈良県立青翔中学校入学者選抜検査問題

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙は、2枚あります。それぞれに、受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには、何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

次の文章を読み、あとの各問いに答えなさい。



この部分については、著作権により公表できません。

(稲垣栄洋『雑草と日本人』による)

(注) 貧相⇨みすばらしい様子。

顕在化⇨はっきりあらわれて存在するようになること。

概念⇨「…とは何か」ということについての受け取り方。

自然観⇨自然に対する考え方。

微生物⇨肉眼では観察できないほどのごく小さい生物。

有機物⇨ここでは、植物や動物の体を作っている物質。

化石燃料⇨石炭や石油など、古代の生物がもとになってきた燃料。

(一) 線部①「発生」と同じ構成(組み立て)の熟語を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 断続
- イ 増加
- ウ 日照
- エ 校歌

(二) 線部②「水が豊富だから可能なのである」と同じ考え方がらできた、水に関する慣用句を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 湯水のように使う
- イ 焼け石に水
- ウ 水を得た魚のように
- エ 上手の手から水がもれる

(三) 文中の空らん A に入る最も適切な言葉を、文章中から五字でぬき出して答えなさい。

(四) 文中の空らん B に入る最も適切な言葉を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア そして
- イ けれども
- ウ なぜなら
- エ だから

(五) 線部③「日本人の環境意識の低さ」の原因として適切でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自然と共にあった日本人の暮らし。
- イ 豊かな自然に対する日本人の甘え。
- ウ 自然は人間の所有物だとする日本人の意識。
- エ 人間も自然の一部だとする日本人の自然観。

(六) 線部④「人間の力が大きくなる」について説明した次の適切な言葉を、文章中から I は四字、II は三字でそれぞれぬき出して答えなさい。

I	II
が発達し、	社会が
すること。	

(七) この文章で筆者が述べている内容として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ヨーロッパでは貧相な自然を克服するために土木機械や農業の技術が発展し、自然保護の概念が日本より早く育った。
- イ 日本では自然の中に人間の生活があるのに対し、欧米では人は自然に立ち向かい、それを克服しようと努めてきた。
- ウ 「水に流す」や「土に返す」という言葉には、自然を守らなければならぬという日本人の自然観が表れている。
- エ 日本の自然は相当地に手ごわいが、自然保護のためには害虫や雑草に対する農薬の使用をやめるべきである。

(八) 線部「豊かな自然の恵みを得てきた日本で、その自然が失われているのだ」とありますが、このことに関して、次の条件1、2に従ってあなたの考えをまとめなさい。

条件1 原稿用紙の使い方に従って、一六〇字以上一八〇字以内で、二段落構成で書きなさい。ただし、題、自分の名前は書かないこと。

条件2 第一段落には、日本の自然が失われている例を一つ書きなさい。第二段落には、自然を守るために自分はどうしていくことができると考えるかを具体的に書きなさい。